

・長寿命化修繕計画とは

津山市で管理する橋梁を最小の費用で効率よく長持ちさせ、安全・安心な道路交通網を形成させる為、従来からの【事後保全】型のメンテナンスから【予防保全】型へと転換し、計画的に補修を行う為の計画です。

【背景】

津山市が管理する橋長15m以上の道路橋は、現在215橋あり、このうち建設後50年を経過する高齢化橋梁は16橋で約7%ですが、今後20年後には、この割合が約69%を占め、急速に高齢化橋梁が増大する見込みです。このような背景から、今後、増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取組が不可欠となります。

【長寿命化修繕計画の対象橋梁】

	一級市道	二級市道	その他市道	合計
全管理橋梁数(15m以上)	40	26	149	215
うち計画対象橋梁数	40	26	149	215
うちこれまでの計画策定橋梁数	34	23	121	178
うちH25年度計画策定橋梁数	6	3	28	37

○長寿命化修繕計画の対象
津山市が管理する橋長15m以上の全ての橋梁

【維持管理方針】

健全度の把握については、橋梁の架設年度や立地条件等を十分考慮して実施するとともに岡山県道路橋梁点検マニュアル（案）に基づいて定期的に点検を実施し、橋梁の損傷を早期に把握します。

また、橋梁を良好な状態に保つため、日常的に行うパトロール等の実施を徹底します。



平成25年度までの橋梁点検結果

点検・策定橋梁数 **累計215橋**

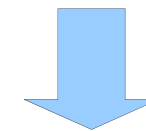
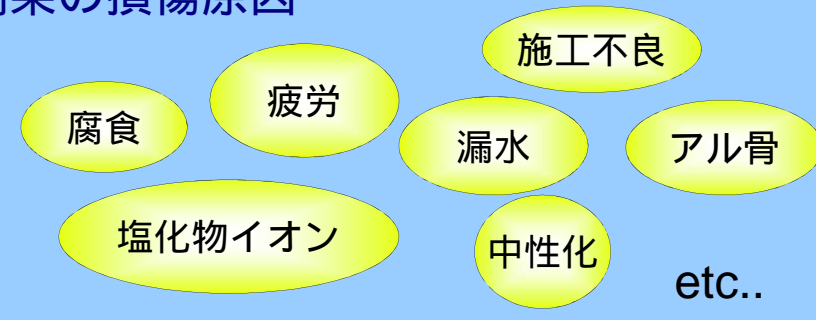
平成20～22年度は建設後経年劣化が進む橋梁及び1級・2級市道を中心に点検を行いました。平成23年度以降は重要橋梁を中心に点検を行なっています。

【代表的な損傷】

RC橋では部材の鉄筋露出
PC橋では床版損傷
鋼橋では桁の腐食
路面損傷・高欄損傷



橋梁の損傷原因



橋梁点検により劣化原因を把握し、路線の重要性や橋梁全体の健全度を勘案し優先順位付けをし、それぞれの劣化原因に適した補修工法を選定し、補修工事を進めていきます。